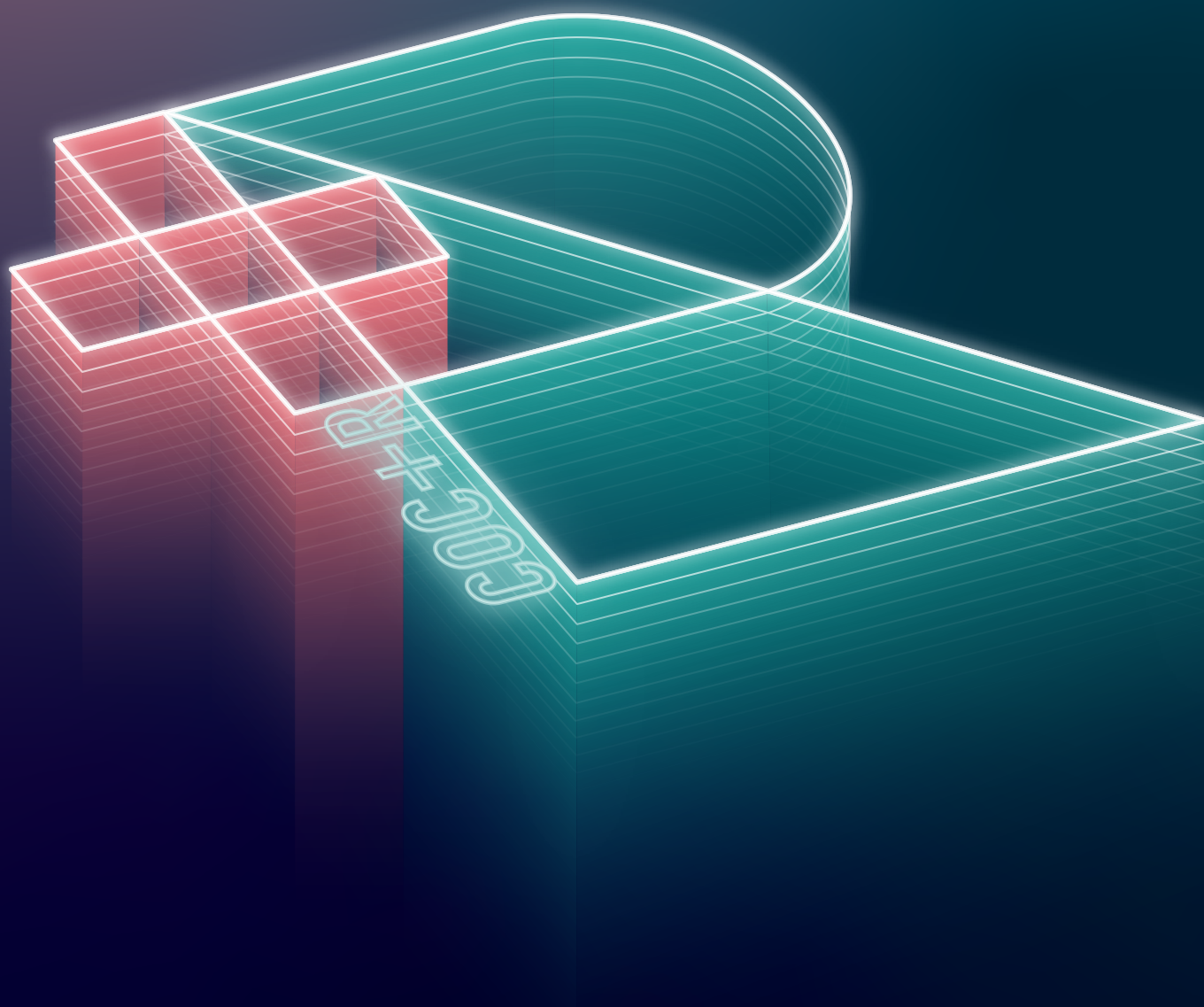


Centers of Community —

Project for Universities as Drivers of Regional Revitalization
through New Human Resources Education Programs

主催者 信州大学

大学による地方創生人材 教育プログラム構築事業 キックオフシンポジウム



Theme

就職から創職へ

2021.2.20 sat

14:00-17:15

オンライン開催

令和2年度大学による地方創生人材教育プログラム構築事業（事業通称名：COC+R） キックオフシンポジウム

テーマ

就職から創職へ

～地方大学だからこそ挑戦できるこれからの人材育成とは～

令和2年度文部科学省事業「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業」のキックオフシンポジウムでは、

テーマを「地方大学だからこそ挑戦できるこれからの人材育成とは」とし、人生100年時代、COVID-19等による社会構造の変化を見据え、魅力ある地域への変革、その持続的な成長に向け、今後さらに重要となる「人材育成」に焦点をあてます。

基調講演では、魅力ある多様な人材育成に向け、地方大学が果たすべき役割と挑戦すべきテーマについて論点の提示を行い、4つのキーノートに対する分科会を開催し、今後の『育成すべき人材像』について様々な視点を提示し、議論を深めます。

日時

2021年2月20日(土) 14時～17時15分

(オンライン情報交換会 17時15分～18時)

会場

オンライン開催

申し込み方法

シンポジウムの参加をご希望の方は会員登録をお願いいたします。

シンポジウムの前日（2月19日）までに登録いただいたメールアドレス宛に、オンラインアクセス方法に関するご案内を差し上げます。会員登録いただくと、事業レポートのダウンロードや、イベント情報などをメールマガジンにて配信いたします。

シンポジウム申し込みは、coc-r.jpのホームページからお願いします。



主催者

信州大学

タイムライン

14:00	開会
14:00～14:05	事業コンセプトPV上映
14:10～14:15	選定4大学の事業説明PV上映
14:15～14:20	開会あいさつ
14:20～14:30	来賓あいさつ 文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長 横井 理夫 氏
14:30～15:00	基調講演 『これからの魅力ある地方大学とは?』 小林 浩 氏 リクルート進学総研所長・リクルート「カレッジマネジメント」編集長
15:00～15:15	キーノートスピーチ ① 地域が求めるグローバル人材像とは? ② 企業が求める人材像とは? ③ インターンシップに求められるものとは? ④ 人材育成におけるCOVID19以降の変化とは?
15:15～15:35	(休憩)
15:35～16:45	分科会セッション ① 地域が求めるグローバル人材像とは? 『地域の魅力を世界視点でupdateする』 ② これからの企業が求める人材像とは? 『未来の働き方を創造する 地方×都市圏』 ③ これからのインターンシップに求められるものとは? 『企業と学生の協働から職を創るインターンへ』 ④ COVID19以降に求められる人材育成の変化とは? 『地方だからこそ挑戦出来る、これからの人材育成』
16:50～17:05	ラップアップ(分科会のまとめ報告)
17:05～17:10	総評
17:10～17:15	閉会あいさつ
17:15～18:00	オンライン情報交換会

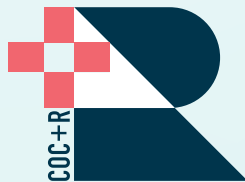
基調講演者紹介 小林 浩(こばやしひろし)氏

1964年生まれ 株式会社リクルート入社後、グループ統括業務を担当、「ケイコとマナブ」企画業務を経て、大学・専門学校の学生募集広報などを担当。経済同友会に出向し、教育政策提言の策定にかかわる。その後、経営企画室、会長秘書、特別顧問政策秘書などを経て2007年より現職。

令和2年9月25日 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部「地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議（第2回）」において、有識者として「地方大学への期待」に関する論点提示を行う。

2020年より、文部科学省中央教育審議会大学分科会質保証システム部会委員。

その他、(公財)大学基準協会 広報委員、大学評価委員、(公財)日本高等教育評価機構 広報委員、大学評価判定委員 を務める。



大学における地方創生人材教育プログラム構築事業(事業通称名:COC+R)について

地方創生に向けては、当該地域にある高等教育機関が核となって、その地域の経済圏における教育と職業、教育と新たな産業を結びつけていく活動が不可欠です。人生100年時代においては、高等教育機関には多様な年齢層の多様なニーズを持った学生を教育できる体制が必要となるため、いわゆる就職氷河期世代も含めた様々な社会人に対しても受けやすく即効性のある出口一体型人材養成の確立が求められています。

本事業は大学・地方公共団体・企業等の各種機関が協働し、地域が求める人材を養成するための指標と教育カリキュラムを構築し、指標に基づき、出口(就職先)が一体となった教育プログラムを実施いたします。

問い合わせ (幹事校事務局)

信州大学 キャリア教育・サポートセンター

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

✉ info@coc-r.jp WEB https://coc-r.jp/